

2. e-Learning 科目の科目学修到達目標並びに課題(5月31日〆切)

臨床栄養学各論 I

No	テーマ	学修到達目標	内容	課題
第1講	肥満症の定義と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満の分類を説明できる。 ・肥満と肥満症の違いを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満の定義と分類 ・肥満症とは ・肥満と肥満症の違い ・肥満度分類 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.肥満症 2.原発性(単純性)肥満 3.二次性(症候性)肥満 4.肥満度分類
第2講	肥満症の病態	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満に伴う健康障害を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レプチン及びレプチン抵抗性とは ・肥満に伴う健康障害(生活習慣病) ・肥満で起こりやすい合併症 ・高度肥満症で注意が必要な疾患 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.レプチン抵抗性 2.肥満に伴う健康障害 3.肥満で起こりやすい合併症 4.高度肥満症で注意が必要な疾患
第3講	肥満症の治療	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満症の治療目標と正しい減量目的を説明できる。 ・減量のための運動療法を説明できる。 ・メタボリックシンドロームの治療意義とアディポサイトカインを説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満症の診断および治療目標 ・LBMを減らさないための減量 ・高度肥満症の薬物療法 ・肥満症の運動療法 ・メタボリックシンドローム ・アディポサイトカイン 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.肥満症の診断 2.内臓脂肪型肥満と皮下脂肪型肥満 3.肥満症の治療目標 4.減量の注意点(LBM) 5.高度肥満症の薬物療法 6.肥満症の運動療法 7.メタボリックシンドロームとア

				ディポサイトカインの種類
第4講	肥満症の食事療法	<ul style="list-style-type: none"> ・体脂肪 1kg を減らすためのエネルギー出納を説明できる。 ・肥満症の食事基準及び食事療法の注意点を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体脂肪を減らすためのエネルギー出納 ・肥満度別減量目標及び食事基準 ・減量のための食事療法の注意点 ・超低エネルギー食療法 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.体脂肪を減らすために負にするエネルギー量の算出方法 2.肥満症の食事療法（食事基準含む）、注意点 3.超低エネルギー食療法（VLCD）とその注意点、適応、禁忌
第5講	糖尿病の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・インスリンの働きから高血糖になるメカニズムを説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病とは ・糖尿病の現状（国民健康・栄養調査結果から） ・インスリンの働き ・ブドウ糖が細胞に取り込まれる（血糖値が下がる）仕組み ・GLUT4 の働き ・高血糖による症状 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.糖尿病とは 2.インスリンの働き（絶対的欠乏、相対的欠乏、インスリン抵抗性） 3.ブドウ糖が細胞に取り込まれる（血糖値が下がる）仕組み 4.GLUT4 の働き 5.高血糖の結果起こること
第6講	糖尿病の分類および合併症	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の分類をできる。 ・1型糖尿病と2型糖尿病の違いを説明できる。 ・糖尿病の合併症を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病と糖代謝異常の成因分類 ・1型糖尿病と2型糖尿病の違い ・糖尿病の典型症状 ・糖尿病の急性合併症と慢性合併症 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.糖尿病の分類 2.糖尿病の典型症状 3.糖尿病の急性合併症と慢性合併症
第7講	糖尿病の検査	<ul style="list-style-type: none"> ・診断に用いられる以下の検査と評価を説明できる。 ・ 随時血糖値 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時血糖値の基準とその評価 ・HbA1c の基準とその評価および 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.随時血糖値

		<ul style="list-style-type: none"> ・HbA1c ・Cペプチド ・ブドウ糖負荷試験 	<p>注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随時血糖値と HbA1c による糖尿病の診断基準 ・赤血球による貧血分類 ・Cペプチドの検査目的 ・ブドウ糖負荷試験の方法及び判定 	<ul style="list-style-type: none"> 2.HbA1c 3.糖尿病の診断基準 4.赤血球による貧血分類 5.Cペプチド
第8講	糖尿病治療の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病治療の短期目標、中期目標、長期目標を説明できる。 ・糖尿病の運動療法を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病治療の短期目標、中期目標、長期目標 ・血糖コントロール目標 (HbA1c、BMI、血圧、血清脂質) ・糖尿病治療の運動療法 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.糖尿病の治療目標 2.血糖コントロール指標 3.糖尿病の運動療法の効果 4.推奨される運動 5.運動療法の注意点 (禁忌、制限が必要な状態を含む)
第9講	糖尿病の薬物療法①	<ul style="list-style-type: none"> ・主な経口糖尿病薬とその機序を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物療法の適応 ・インスリン抵抗性改善薬 ・インスリン分泌促進薬 ・糖吸収・排泄調節薬とその注意点 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.インスリン抵抗性改善薬 2.インスリン分泌促進薬 3.糖吸収・排泄調節薬とその注意点
第10講	糖尿病の薬物療法②	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病注射薬の適応と分類、低血糖発作発症時の対応を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インスリン療法の適応 ・インスリン分泌パターン ・インスリン製剤の分類 ・GLP-1 受容体作動薬の作用機序と適応 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.インスリン療法の目的と適応 2.インスリン分泌パターンとそれを補うインスリンの種類 3. GLP-1 受容体作動薬の特徴と適応

第11講	糖尿病の食事療法①	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病食事療法の目的、食事基準を説明できる。 ・制限が必要な栄養素とその必要性を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病食事療法の目的 ・糖尿病患者の食事基準 ・三大栄養素の質と量の制限 	<p>中間テスト実施</p> <p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.糖尿病の食事療法の目的 2.糖尿病患者の食事基準 3.三大栄養素摂取の注意点
第12講	糖尿病の食事療法②	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病治療とビタミン摂取の関係を説明できる。 ・血糖上昇に配慮した食品を選択できる。 ・糖尿病食事療法のための食品交換表の目的を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビタミンの必要性 ・マグネシウム、カルシウム、食物繊維の必要性 ・血糖上昇に配慮した食品選択（グリセミックインデックス、レジスタントスターチ、発酵食品） ・糖尿病食事療法のための食品交換表とは 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.血糖コントロールに必要なビタミン 2.食物繊維の有用性と多く含む食品 3.血糖値を上げにくい食べ方 4.レジスタントスターチ 5.糖尿病食事療法のための食品交換表
第13講	糖尿病の食事療法③	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病食事療法のための食品交換表の使い方を説明できる。 ・必要栄養量から食料構成を作成できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病食事療法のための食品交換表の使い方 ・糖尿病治療のための食料構成作成方法 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.必要栄養量から食料構成作成のための注意点
第14講	糖尿病の食事療法④	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病食事療法のための食品交換表を用いて、常食から展開できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品交換表を用いた食料構成を用いて常食からの展開方法及び展開のポイント 	<p>以下の課題に取り組みなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.常食からの展開 作成した食料構成を用いて常食からメニューを展開する。
第15講	糖尿病の食事療法⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・症例から課題を抽出し、必要栄養量の提案をし、注意すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の症例演習 	<p>以下について説明しなさい。</p>

		<p>栄養素を説明し、食品を例に挙げて指導計画を立案できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工甘味料の種類ごとに、特性（用い方の注意点）を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題抽出 ・必要栄養量の提案 ・注意すべき栄養素及び食品 ・人工甘味料の種類と特性 	<ol style="list-style-type: none"> 1.必要栄養量の求め方 2.糖尿病患者が摂ると良い食品、避けたほうが良い食品 3.人工甘味料の種類と特性
--	--	--	---	--